1. 基本情報										
事務事業名	河川管理事業							事業ハ	lo.	
事業担当課	建設部 河川整備	備課	所属	展	高野 和典	Ļ	担当者	足立	真人	
	実施計画区分	該	当	算	河川総務費			排水榜	矏場管理	事業
事業区分	新規・継続・臨時区	区分 継	続 小哥	業	桜づつみ公園]管理	事業	三宝夕	「ム管理	事業
	会計区分	_	般	3	河川維持管理	事業	ŧ	災害点	急復旧	事業(河川)
	まちづくり目標	1 [2]	准もが住み	たい	定住のまち					
		2								
 総合計画の位置づけ		_	【道路·河川	川]人	や環境にやさし	い道	路や河川	をつくろ	う	
心口引回の位直 20	旭泉口1宗	2								
	施策の展開	① ②効	率的な維持	寺管理	里の実施	2				
		1				2				
根拠法令·個別計画等		機場の設置	及び管理に関	する条	例、丹波市立公園条例	列、丹波	市立氷上さ	ら公園条件	列、丹波市国	立三宝ダム公園条例
事業期間	開始年度	16	年度	?	終了年度	無	期	度		

2. 事業の概要											
対象(誰を、何を)	被害を受ける恐れの	ある市民									
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			排水機場、ダムを適	正に管理し、河川への	の関心を深め、良好						
実施目的 ベストな状態(期待される効果)	な河川環境を保つ。										
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	・排水機場管理・河川環境整備、河・桜づつみ公園維持・三宝ダム維持管理	管理									
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度						
各年度の事業概略	・河川に関する施設の維持管理 ・さくら公園の維持管理 ・河川の除草	ブ川に関する施 ・河川に関する施 ・河川に関する施 ・河川に関する施 ・河川に関する施 ・河川に関する施 ・河川に関する施 ・河川に関する施 ・辺の維持管理 ・さくら公園の維持 ・さくら公園の維持 ・さくら公園の維持 管理 管理									
令和元年度事業 及び積算内容	河川総務費 2,166千排水機場管理事業		理事業 3,930千円 ム管理事業 5,331千								
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額						
総事業費A+C+E	92,430	89,853	107,946	89,444	135,982						
直接事業費A	64,430	61,853	81,146	62,644	101,982						
職員従事者数(人·年)B	3.00	3.00	3.00	3.00	4.00						
人件費C=B×7,500千円	24,000	24,000	22,800	22,800	30,000						
非常勤職員従事者数(人·年)D	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00						
人件費E=D×2,000千円	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000						
特定財源	24,057	25,756	23,537	25,448	50,604						
国・県支出金	24,042	25,741	23,526	25,437	24,674						
借入金(地方債)	0	0	0	0	25,900						
受益者負担金	0	0	0	0	0						
その他特財	15	15	11	11	30						
一般財源	68,373	64,097	84,409	63,996	85,378						

3.	指標等	の進捗管理							
				説明·算定式			H29目標		R1目標
			単位	机势"并足 式	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
目	成果 三宝ダム施設トラブルの年			警報が頻発した回数	0	0	0	0	0
目標		間発生件数	件	言報が残光した固数	4	2	7	5	
達		排水機場施設トラブルの年	件	修繕を要した回数	0	0	0	0	0
成	八木	間発生件数			5	3	2	3	
状	成果	河川清掃等の美化活動に参加	%	河川美化活動取組自治会÷	74.0	75.0	76.0	77.0	78.0
況	八木	している自治会の割合	70	丹波市自治会数	74.8	75.2	73.1	73.8	

1. 基本情報										
事務事業名	河川整備事業							事業N	О.	
事業担当課	建設部 河川整	備課	所属	展	高野 和典	į	担当者	藤本	和真	
	実施計画区分	う 該	当	算	河川改良事業					
事業区分	新規・継続・臨時[区分 継		業	河川維持事業					
	会計区分	_	般	3						
	まちづくり目標	1 [2]	進もが住み	たい	定住のまち					
	よりフィッロ信	2								
┃ ┃総合計画の位置づけ	施策目標	1 2-3	【道路·河J	川]人	や環境にやさし	い道	路や河川	をつくろ	う	
心口引回の位直 20	心來口憬	2								
	施策の展開	① ②効	率的な維持	寺管理	里の実施	2				
	心束の展開	① ③計	画的な河川	整(莆	2				
根拠法令·個別計画等	河川法、土地収	用法、不	動産登記》	去						•
事業期間	開始年度	16	年度	~	終了年度	無	期年	度		

2. 事業の概要					
対象(誰を、何を)	近隣住民				
実施目的ベストな状態(期待される効果)	河川整備により流下 の確保に寄与する。	能力が向上し、氾濫	こにくくなることで災害	害に対する不安が和	らぎ、安心した生活
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	洪水時の浸水被害の ・改良計画の作成 ・必要な起業地(用地・工事の完成に向け	也)の取得	害対策のため、河道	の整備を行う。	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
各年度の事業概略	渫、修繕、土砂流出 対策、改良、北柏原 川浸水対策。	渫、修繕、土砂流出 対策、改良、北柏原	市管理河川の土砂浚 渫、修繕、土砂流出 対策、改良 維持事業数:19箇所 改良事業数:12箇所	市管理河川の土砂浚 渫、修繕、土砂流出 対策、改良、浸水対 策。 維持事業数:33箇所 改良事業数:6箇所。	市管理河川の土砂浚 渫、修繕、土砂流出 対策、改良、浸水対 策。 維持事業数:21箇所 改良事業数:12箇 所。
令和元年度事業 及び積算内容	河川維持事業 36,5 河川改良事業 541,2				
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	319,500	641,633	935,400	613,463	630,200
直接事業費A	255,500	577,633	897,400	550,367	577,700
職員従事者数(人·年)B	8.00	8.00	5.00	8.26	7.00
人件費C=B×7,500千円	64,000	64,000	38,000	62,776	52,500
非常勤職員従事者数(人·年)D	0.00	0.00	0.00	0.16	0.00
人件費E=D×2,000千円	0	0	0	320	0
特定財源	234,600	266,800	736,400	354,558	495,700
国・県支出金	186,000	121,000	152,500	96,058	105,000
借入金(地方債) 受益者負担金	48,600 0	145,800 0	583,900 0	258,500 0	390,700 0
	0	0	0	0	0
一般財源	84.900	374.833	199.000	258.905	134,500

3.	指標等	の進捗管理							
		——————————— 指標名	単位	説明·算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
		刊示口	平四	武功"异足式	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
目	活動	工事発注箇所	目標:現年度予算見込箇所数	29	35	26	39	30	
標	/ 1 到	工事无任固別		実績:現年+繰越事業発注実績	12	30	31	36	
達	成里	計画達成率	%	発注箇所/緊急性の高い整	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
成	从木	可固定成平	70	備必要箇所	41.4	85.7	119.2	92.3	
状									
況									

1. 基本情報								
事務事業名	国県事業推進事業	事務				事業N	0.	
事業担当課	建設部 道路整備語		所属長	畑 幸一	担当	者 土家	マ 健	
	実施計画区分	該当	予算	国県事業推進				
事業区分	新規・継続・臨時区分	継続	小事業	急傾斜地崩壊	対策事業			
	会計区分	一般	名					
	まちづくり目標	【2】誰もか	「住みたい	定住のまち				
	(2)							
┃ ┃総合計画の位置づけ	施策目標	2-3【道路	孙河川】人	や環境にやさし	い道路や河	[川をつくろ・	う	
	旭來口標 ②							
	施策の展開	_	な道路整備		2			
		③計画的			2			
根拠法令·個別計画等					•			
事業期間	開始年度	18 年	度 ~	終了年度	無期	年度		

2. 事	事業の概要					
対	†象(誰を、何を)	国県が管理する道路	8を利用する人、国県	!が管理する河川のi	丘隣住民	
ベスト	実施目的 な状態(期待される効果)	関係住民との調整が 便性が増す。また、注		₹する道路・河川事業 民が安全に生活でき		、 道路利用者の利
(具	事業の概要 具体的手段・全体計画)	・国及び県事業の調・各種同盟会との連・事業推進のため、 ・要望への対応		に対する要望書の作 会の事務局としての 会の開催		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
各:	年度の事業概略	車道付属施設の維持 管理工事 ・各種同盟会、協議 会への負担 ・急傾斜地崩壊対策	 ・舞鶴若狭自動車 道、北近畿豊岡自動 車道付属施設の維持 管理工事 ・各種同盟会、協議 会への負担 ・急傾斜地崩壊対策 事業費の負担 	 ・舞鶴若狭自動車 道、北近畿豊岡自動 車道付属施設の維持 管理工事 ・各種同盟会、協議 会への負担 ・急傾斜地崩壊対策 事業費の負担 	 ・舞鶴若狭自動車 道、北近畿豊岡自動 車道付属施設の維持 管理工事 ・各種同盟会、協議 会への負担 ・急傾斜地崩壊対策 事業費の負担 	・舞鶴若狭自動車 道、北近畿豊岡自動 車道付属施設の維持 管理工事 ・各種同盟会、協議 会への負担 ・急傾斜地崩壊対策 事業費の負担
	う和元年度事業 及び積算内容	舞鶴若狭自動車道・ 道路に関する同盟会 急傾斜地崩壊対策事	は議会の負担金:	10件:722千円		1,000千円
	コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事	業費A+C+E	47,185	47,997	38,271	64,493	57,859
Ī	直接事業費A	27,785	29,237	20,487	44,733	39,109
耶	哉員従事者数(人・年)B	2.39	2.31	2.34	2.60	2.50
	人件費C=B×7,500千円	19,120	18,480	17,784	19,760	18,750
訓	⊧常勤職員従事者数(人・年) D	0.14	0.14	0.00	0.00	0.00
	人件費E=D×2,000千円	280	280	0	0	ŭ
特定		23,300	18,610	10,690	30,100	=-,
	国·県支出金	0	0	0	0	~
	借入金(地方債)	19,600	16,200	8,600	26,700	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
I	受益者負担金	3,700	2,410	2,090	3,400	,
\perp	その他特財	0	0	0	0	0
一般	財源	23,885	29,387	27,581	34,393	32,818

3.	指標等	の進捗管理							
		指標名	単位	説明·算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
		担保石	甲亚	就明"昇足式	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
E	汗勈	活動 国県事業説明会・現地立会の		国県事業推進のため、関係者への各	90	90	90	90	90
標	一一到	開催回数	回	種説明会・現地立会の開催回数	100	110	61	38	
達	江丰	国県道、県管理河川の修繕等		国及び県に対する要望書を作成	130	130	130	130	130
成		申出件数	件	した件数	130	121	135	196	
状		国県道、県管理河川の修繕等	箇所	国及び県に要望書を提出した箇	15	15	15	20	20
沥	以本	申出に対する実施回答箇所数 匿		所の内、実施回答箇所数	15	26	25	54	

1. 基本情報												
事務事業名	土木道路橋りょ	う管理事	業					T-	事業No			
事業担当課	建設部 道路整	E備課	Ē	听属長	畑	幸一	担当	当者	澤瀉	良孝		
	実施計画区:	分言	亥当	予算	法定外公	共用財産	産管理	事業 ば	直路橋に	りょう総	務費(約	燥越分)
事業区分	新規・継続・臨時	区分 糺	迷続 /	小事業	道路橋り	よう総務	務費					
	会計区分	_	一般	名								
	まちづくり目標	① [2]	誰もがた	主みたい	定住のま	5						
	よりつくり口信	2										
 総合計画の位置づけ	施策目標	1 2-3	3【道路∙∶	河川】人	や環境に	やさしい	道路や	河川を	つくろう	<u> </u>		
松石町圏の位置 ハバ	心 界口惊	2										
	施策の展開	1 22	効率的な	維持管理	里の実施	(2						
	心束の成用	1				2						
根拠法令 · 個別計画等	道路法、丹波市	道路占原	用料徴収	条例、	丹波市法定	外公共	物の管	理に関	する条	例		
事業期間	開始年度	16	年度	~	終了年	度	無期	年度	Į			

尹未知问		0 十尺 1	作 1 千皮 無	为 十尺	
2. 事業の概要					
対象(誰を、何を)	全市民及び道路利用	用者			
実施目的 ベストな状態(期待される効果)			ができる。また、道路 が安全に通行でき、		
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	・良好な市道管理の ・道路等と民有地と(ための行政指導(不 の境界協定事務	受ける場合の占用許法占有事案や通報・等が改築される場合	苦情等案件への対	応)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
各年度の事業概略	事業補助	法定外公共物整備 事業補助 市道内の未登記処 理、 道路台帳の更新	法定外公共物整備 事業補助 市道内の未登記処 理 道路台帳の更新	法定外公共物整備 事業補助、市道の 表計を表示を 、市道の 、市道の 、市道の 、市道の 、市道の 、市道の 、市道の 、市道の	事業・災害復旧補助、市道内民地の 是正処理、道路台帳の更新・道路占 用データの取り込み及び検索処理シ
令和元年度事業 及び積算内容		等委託料(道路占用	分筆・登記手続き) 検索処理システム追 、路の改修・修繕、未		1,000,000円 13,010,000円 接等)17,784,000円
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
総事業費A+C+E	28,150	55,524	37,914	57,346	71,320
直接事業費A	16,030	20,724	14,030	23,626	
職員従事者数(人·年)B	1.49	4.10	3.09	4.20	
人件費C=B×7,500千円	11,920	32,800	23,484	31,920	· ·
非常勤職員従事者数(人·年)D	0.10	1.00	0.20	0.90	
人件費E=D×2,000千円	200	2,000	400	1,800	· '
特定財源	0	0	0	C	
国・県支出金	0	0	0	С	_
借入金(地方債)	0	0	0	C	-
受益者負担金	0	0	0	С	-
その他特財					
一般財源	0 28,150	0 55,524	0 37,914	57,346	·

3.	指標等	の進捗管理							
		——————————— 指標名	単位	説明·算定式	H27目標			H30目標	R1目標
				武功 "异足式	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
目	活動	道路占用·工事施行承認等	件	市道占用許可·廃止、工事施	370	370	370	370	370
標	石刧	件数	Η	行承認許可件数(更新含)	374	566	475	494	
達成	活動	_{ғы} 法定外公共物改築·使用許		里道・水路の改築許可、使用	250	250	250	250	250
	石刧	^{古刬} │可等件数		許可・廃止件数(更新含)	250	223	223	158	
状	成果	未承認、未許可による事故		市道、里道、水路の使用・工事施行の未 承認等による事故把握数(開発行為・建築	0	0	0	0	0
況	八米	把握件数	1+	帝記守による事故行徒数(開光行為・建業 確認による指導)	0	0	0	0	
									·

1. 基本情報												
事務事業名	道路維持修繕	道路維持修繕事業 事業No.										
事業担当課	建設部 道路整	儲課		所属長	義積 浩明	月	担当者	中谷	一志			
	実施計画区分		該当	予算	道路保全事業				3事業(道路)			
事業区分	新規・継続・臨時区分		継続	小事業	道路パトロール事業		道路保全事業(繰越分)					
	会計区分		一般	名	橋りょう長寿命化事業		橋りょう長寿命化事業(繰越分)他2事業					
	まちづくり目標)	【2】誰もか	「住みたい	、 定住のまち							
		2										
総合計画の位置づけ	施策目標		2-3【道路・河川】人や環境にやさしい道路や河川をつくろう									
松口可凹の位置 217	旭米口标	2										
	施策の展開	1)	②効率的	な維持管理	理の実施	2						
		1				2						
根拠法令·個別計画等					•							
事業期間	開始年度	16	5 年	度 ~	終了年度	無	期年	度		•		

2. 事業の概要											
対象(誰を、何を)	市道利用者及び沿線住民										
実施目的 ベストな状態(期待される効果)	安全・安心な道路機能が維持できるようになり、車両・通行者が安全に通行でき、沿線住民が安心して生活できる。										
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	・道路構造物、交通安全施設、道路照明、道路除草・植栽の維持管理・修繕 ・丹波市橋梁長寿命化計画に基づく橋梁の補修・架け替え ・道路舗装修繕 ・道路パトロール ・除雪及び凍結防止剤散布・設置										
各年度の事業概略	・除草及び植栽管理 ・除雪、凍結防止剤の	平成28年度 ・側溝及び道路施設等の維持管理、修繕・除草及び植栽管理・除雪、凍結防止剤の散布・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	平成29年度 ・側溝及び道路施設 等の維持管理、修繕・除草及び植栽管理・除雪、凍結防止剤の 散布 ・舗装の新設や修繕・道路パトロール・橋梁修繕	平成30年度 ・側溝及び道路施設等の維持管理、修繕・舗装の新設や修繕・・橋梁修繕・道路パトロール・除草及び植栽管理・除雪、凍結防止剤の散布	令和元年度 ・側溝及び道路施設等の維持管理、修繕・舗装の新設や修繕・橋梁修繕・道路パトロール・除草及び植栽管理・除雪、凍結防止剤の散布						
令和元年度事業 及び積算内容	工事費(道路維持補修除草植栽管理):60,500防災修繕·舗装修繕工円、橋梁補修設計·橋沒復旧委託料:4,000千円)千円、道路防災修繕設 事:35,000千円、橋梁县 梁補修工事積算·工事	と計委託料:2,000千円、 長寿命化補修工事費:9	消耗品費(凍結防止剤 9,000千円、橋梁定期点	他):8,700千円、道路 核委託料:59,000千						
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額						
総事業費A+C+E	684,126	649,905	629,740	618,052	629,192						
直接事業費A	651,446	611,185	587,724	564,052	580,442						
職員従事者数(人·年)B	3.77	4.50	5.16	7.20	6.50						
人件費C=B×7,500千円	30,160	36,000	39,216	54,000	48,750						
非常勤職員従事者数(人·年)D	1.26	1.36	1.40	0.00	0.00						
人件費E=D×2,000千円	2,520	2,720	2,800	0	0						
特定財源	261,609	316,508	217,520	218,033	234,401						
国・県支出金	186,000	213,600	145,020	141,933	·						
借入金(地方債)	75,600	102,900	72,500	76,100	,						
受益者負担金	0	0	0	0							
その他特財	9	8	0	0							
一般財源	422,517	333,397	412,220	400,019	394,791						

3.	指標等	の進捗管理							
	指標名		単位	説明·算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	R1目標
			中心	武叻·异足式	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
ΙB	活動	道路維持修繕・舗装工事件		道路維持修繕·舗装·土砂撤去工事	420	420	420	420	420
目標	/白 到	数	件	入札件数、直営修繕等対応箇所数	687	731	654	628	
達成		橋梁長寿命化修繕実施件 数		橋梁修繕工事発注件数	7	9	4	12	8
	石刧				2	12	5	6	
状況	活動	動 道路パトロール日数	В	市道パトロール日数	72	72	72	72	72
沈	石利			1月201日 70日数	95	92	94	89	
	成果	道路管理瑕疵による損害賠		道路施設の不具合等により損害	0	0	0	0	0
成未	^长 償件数		賠償の対象となる事故発生件数	1	1	0	1		

1. 基本情報								
事務事業名	道路整備事業					事業	No.	
事業担当課	建設部 道路整備	果	所属長	畑 幸一	担当	者	足立 渡	澤瀉 良孝
	実施計画区分	該当	予算	国庫交付金等	道路整備事	業 市単	独道路	整備事業
事業区分	新規・継続・臨時区分	継続	小事業	国庫交付金等道路	8整備事業(繰起	対) 市単	独道路整	備事業(繰越分
	会計区分	一般	名	辺地対策道路	各整備事業	土木	総務費	他8事業
	まちづくり目標	【2】誰もだ	が住みたい	定住のまち		-		
	まりノい日保②							
┃ ┃ 総合計画の位置づけ	施策目標	2-3【道路	A·河川】人	や環境にやさし	い道路や河	川をつく	ろう	
松口引回の位直 20	旭來日禄 ②							
	施策の展開	①計画的	な道路整備	莆	2			
					2			
根拠法令·個別計画等	道路法、土地収用流	去、不動産	登記法					
事業期間	開始年度	16 年	度 ~	終了年度	無期	年度		
	-				-		-	

2. 事業の概要												
対象(誰を、何を)	市道利用者及び沿線	泉住民										
	車両・歩行者の道路	利用における利便性	が向上し、安全に通	行出来る。								
p# 0 #												
実施目的												
へいな仏感(物付られる効本)												
	丹波市道路整備計画に定める路線並びに地域要望路線を精査し、優先順位をつけて拡幅等整備ユ またでき											
事業の概要	事を行う。											
サ 未 の 似 女 (具体的手段・全体計画)	・改良計画の作成											
(2011)	・必要な起業地(用地)の取得											
	・工事の完成に向けた適切な設計施工監理											
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度							
			幹線市道の地域間の	主要幹線道路の補	主要幹線道路の補							
		連携強化、生活道路の利便性の向上、交	連携強化、生活道路の利便性の向上、交	完、公共施設等の主要施設へのアクセス	完、公共施設等の主 要施設へのアクセス							
		通安全対策、辺地対	通安全対策、辺地対	性向上、交通安全対	性向上、交通安全対							
各年度の事業概略		策、プロジェクト関連	策、統合病院周辺の	策、辺地対策、生活	策、辺地対策、生活							
		の道路整備。	道路整備。	道路の利便性を図る	道路の利便性向上を							
	改良着手事業数:道	改良着手事業数∶道	改良着手事業数:道	ための道路整備。	図るための道路整							
	路27路線。	路28路線。	路20路線。	改良着手事業数:道	備。							
				路20路線。	改良着手事業数∶道 路21路線。							
	国康森什全笔道敦東	改供車業(於約/瓜油	 古道败敕冼計画败經	 								
令和元年度事業	国庫交付金等道路整備事業(幹線(丹波市道路整備計画路線)、歩道、通学路対策(カラー舗装)含む): 9路線:199,000千円、市単独道路整備事業(生活道路):10路線:163,000千円、辺地対策道路整備事											
及び積算内容	業: 2路線: 302,700千円、土木総務費19,936千円											
コスト(千円)	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額							
総事業費A+C+E	1,325,492	1,222,873	805.346	651.092	710.886							
直接事業費A	1,268,932	1,171,073	755,830	601,652	684,636							
職員従事者数(人·年)B	6.97	6.35	6.41	6.50	3.50							
人件費C=B×7,500千円	55,760	50,800	48,716	49,400	26,250							
非常勤職員従事者数(人·年)D	0.40	0.50	0.40	0.02	0.00							
人件費E=D×2,000千円	800	1,000	800	40	0							
特定財源	1,141,081	870,461	581,702	367,616	623,535							
国·県支出金	13,800	73,300	123,600	97,614	29,733							
借入金(地方債)	1,117,280	797,160	458,100	270,000	593,800							
受益者負担金	0	0	0	0	0							
その他特財	10,001	1	2	2	2							
一般財源	184,411	352,412	223,644	283,476	87,351							

3.	指標等	の進捗管理							
	指標名		単位	7	H27目標	H28目標		H30目標	R1目標
			平区		H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績
目	活動	舌動 測量委託発注延長		目標=まちづくり指標一覧表:市道改良率のめざす値。実績=現年+繰越路線測量発注 – 実績	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
標	石劃				2,220	1,640	2,650	980	
達成	成果	安全性・利便性が向上した		目標=まちづくり指標一覧表:市道改良率の めざす値。実績=現年+繰越路線拡幅完成	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	从木	* 拡幅工事完成延長		実績	1,025	1,981	1,879	1,792	
状									
況									